

久米島学習センターからのお知らせ

学習センター生、センター試験大健闘！

4月にスタートした久米島学習センターから今年度4人の3年生がセンター試験を受けました。夏休みも毎日7時間勉強し、冬休みも返上でコツコツ頑張った成果が、今回のセンター試験で見られたと思います。国語は、大半の生徒が8割を超え、古文が満点の生徒が2人もいました。また最初の模試よりも20%以上の点数をセンター試験でとってくれた生徒もいました。高校でのセンター激励会で言葉にしたように後輩たちに受験勉強をがんばる頼もしい背中を見せてくれたのではないのでしょうか。

学習センター塾頭 山本愛美



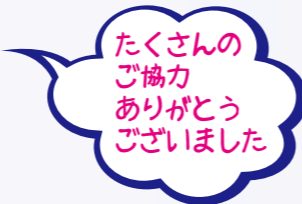
中3生対象 高校準備教室 開催しました — 指導料無料 —

2月2日と16日は球美中生、2月9日と24日は、久米島西中生を対象とし、高校準備教室を開催しました。

学習時間の17:00～18:30内に1時間を目安として個別指導を行いました。

○準備教室概要

- ・学習時間は17:00～18:30です。時間内であれば、いずれの時間に来ても帰ってもOKです。
- ・1時間くらいの学習をおすすめします。
- ・一斉学習ではなく個別指導を行います。
- ・科目は全科目OKです。
- ・指導料は無料です。
- ・3月以降の日程は後日、下記、ホームページで連絡します。



久米島学習センターって??

「学力」+「未来を生きる力」が育つ場所

学力

通常の授業

学校の宿題・課題のフォローや質問対応を中心に基礎学力の定着やその日の学校での学習内容の理解を目的としています。

家では取組みにくい暗記の手助けもしています。



テスト前の授業

テスト範囲の質問対応はもちろんのこと、テストに向けての勉強の仕方やスケジュールの立て方などのアドバイスも行っています。

テスト前にはたくさんの生徒たちが来てくれています。



受験指導

「これをしなさい」という押しつけの指導ではなく生徒と一緒に授業計画(カリキュラム)を作り、何を受験のためにしなければいけないかを考えながら受験勉強の指導を行っています。



未来力

プロジェクト学習

方向性
自信
社会人基礎

変化の激しい社会に対応するために必要な3つの力

上記の3つの力を育てることを意識したゼミ形式の授業を展開しています。



ゲストスピーカーをお招きしての授業

チームで与えられた問題を解決する授業

全体で協力し問題に取り組む授業

3年生のゼミ授業

受験を控えた3年生には、推薦入試の志望理由書や小論文の対策を見据えて、1対1での個別対応のゼミ形式授業を実施しています。自分の目的や夢が明確になってきます。



お問い合わせ

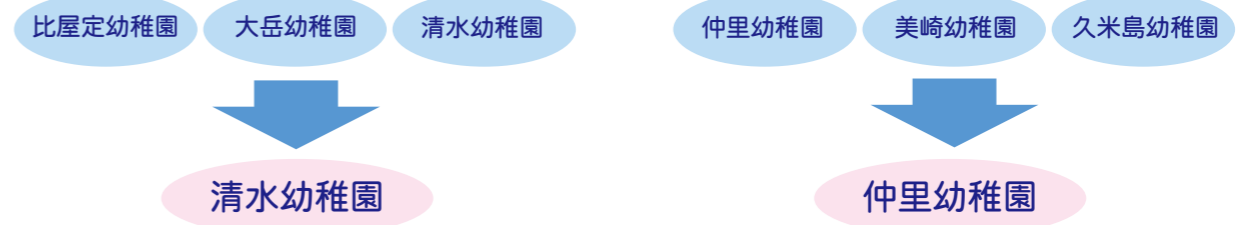
電話：080-2128-7114

メール：kumejuku@gmail.com お気軽にご連絡ください。

ホームページ：https://kumejuku2015.wordpress.com/

久米島町立幼稚園の統廃合について

久米島町教育委員会では、町内全ての園児が保育面や安全面から公平に十分な保育サービスが受けられる環境とするため、4月より現在の6幼稚園を統廃合し、清水幼稚園、仲里幼稚園の2園において保育を行います。



統廃合により、通園の距離が遠くなってしまった比屋定、大岳、美崎、久米島の小学校区の園児には無償の送迎バスを運行し、登降園の支援を行います。

統廃合後の幼稚園では1園につき3人、合計6人の幼稚園教諭を配置し保育内容の充実を図ります。預かり保育についてはこれまでどおり2園での実施となります。

また、小学校への入学時は住所により小学校が指定されており、その定めのとりの小学校へ入学となります。

育てよう久米島の書道文化 第21回久米島町新春書道展

1月30日、31日の2日間、具志川改善センターにて、第21回久米島町新春書道展が開催されました。

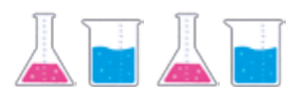
児童・生徒の部458点(小学生333点、中学生125点)、一般の部25点(高校生含む)計483点が出品され、その中から特別賞17点、金賞44点、銀賞54点、銅賞322点が選ばれました。

児童生徒の部で沖縄県知事賞を受賞した球美中2年の山城英莉さんは、「書道を通して集中力がつき、同じ文字を納得いくまで書き続ける忍耐力、努力の大切さを学ぶことができました。この書道展に向けて何枚も書き続け、自分の目標を達成することができ、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです」とあいさつしました。

また今回、一般の部では高校生の頑張りが目立ち、7つある特別賞の内5つに高校生が入賞しました。



親子で楽しむ科学実験教室



「親子で楽しむ科学実験教室」(主催・久米島サイエンス同好会島村一司会長)が2月11日に具志川改善センターで行われました。

会場には30人の親子連れが参加し、講師の「曾我部國久先生(出雲科学館名誉館長)」から次々と繰り出されるサイエンスショーや物作りに引き込まれていました。実験では久米島の紅イモから抽出したアントシアンという色素(紫色)を使い、紫色の水溶液がドライアイスを入れることで色が変化する様子を見たり、体験活動では、子ども達がバラの花を液体窒素に浸して手で握りつぶしたりする等最後まで目が離せない動きでいっぱいでした。

最後は親子で協力して「世界に一つだけの万華鏡づくり」をしました。

清水小4年生の感想では「風船のヘリウムガスで声が普段より高くなるのが分かりました。万華鏡づくりは難しかったけど、できたものを見たら、感動しました」

美崎小4年生の保護者は「子どもがいきいきと、不思議なことに対して何でかなあと考える様子が見られて良かったです。自分自身も子どもに戻ったような緊張感がありました」と感想を述べていました。

お問い合わせ 教育委員会 ☎985-2287